環境保健協議会だより

全戸配布　第３０号

安全なごみ収集のため 危険物の正しい分別を。

Please help promote safe trash collection by correctly sorting dangerous waste.

ごみの出し方5原則

1. 決められた曜日の
2. 決められた時間に
3. 決められたものを
4. 決められた方法で
5. 決められた場所へ

ごみ収集車の火災事故

リチウムイオン電池や充電式電池を内蔵した製品およびカセットボンベが誤って収集車に積み込まれてしまうと 押しつぶされることによって発火事故が発生することがあります。

リチウムイオン電池は圧力や強い衝撃を受けると発火しやすく、カセットボンベは摩擦による静電気や火花などが残ったガスに引火して発火する恐れがあります。**これらの危険物は「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」には絶対に混ぜないでください。**

充電式電池やボタン電池、モバイルバッテリーはホームセンターや家電量販店などのJBRC協力店㊟へ、カセットボンベは使い切ってから黄色のネットに入れてください。膨らんだモバイルバッテリーや中身を使い切れないカセットボンベ、コイン電池、加熱式たばこは市役所**一般廃棄物対策課（☎027-321-1253）**へご相談ください。

㊟ JBRC（Japan Portable Rechargeable Battery Recycling Center）とは、「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、小型充電式電池の再資源化に取り組む一般社団法人です。

マイクロビーズの飛散事故

ビーズクッションとは小さな発砲スチロール素材のマイクロビーズが詰められ、使う人の体に合わせて形状が自在に変化するクッションです。

ビーズクッションはごみ収集車に巻き込まれる際に破裂してマイクロビーズが広く飛び散り、収集員が吸い込む危険性や回収作業が非常に困難になります。

自己搬入　高浜クリーンセンター、吉井クリーンセンター、新町クリーンステーションへ

ごみステーションに排出　指定袋にビーズクッションだけ入れて**「ビーズクッション」と貼り紙**をして燃やせるごみの日に排出（**指定袋に直接マイクロビーズだけを入れない**）

粗大ごみで排出　市の指定袋に入らない大きさのものは**粗大ごみ処理券を利用して排出**

お問い合わせは　町内の環境保健委員　または　一般廃棄物対策課（☎027-321-1253）まで

全体研修会が開催されました

群馬音楽センター　令和６年１１月１５日（金）

第１講演　ごみ減量～全国自治体の挑戦（環境ジャーナリスト・環境カウンセラー／服部美佐子様）

群馬県の一人一日当たりのごみ排出量は全国でワースト８位（令和４年度）です。数年前の２位からはかなり改善しましたが、まだまだ多いのが現状です。家庭から出る燃やせるごみの約４割は生ごみで、これを減らすことが全国自治体の課題となっています。

今回講演いただいた講師の服部様は全国各地で取り組まれている様々なごみ減量対策について取材を重ねてこられました。それから分かったことは、それぞれ地域に根差した独自の効果的な取り組みがある、ということでした。今回はその中から私たちにも参考になるいくつか事例を紹介していただき、まだまだ減量できる可能性を教えていただきました。

第２講演　清掃管理課の業務について（環境部清掃管理課課長補佐／北川祥司様）

燃やせるごみの袋に混入する缶類やビン類、資源物の飲料缶と一緒に出される缶詰の缶、時には中身が入ったままの物も。ステーションに出せない粗大ごみも収集されません。こんな日常の困りごとに素早く対応してくれるのが清掃管理課です。

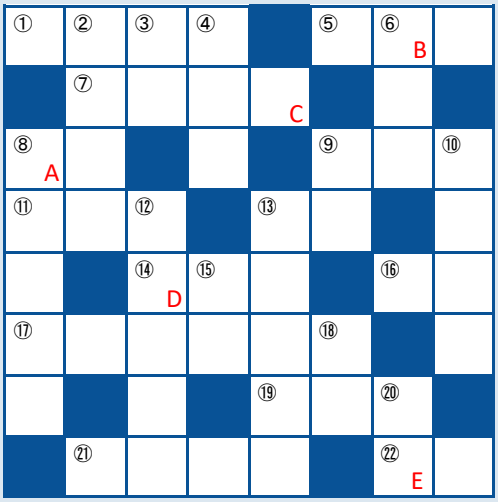
同課の業務は燃やせるごみの収集運搬ですが、このような違反ごみの収集運搬や町内清掃ごみの収集運搬、ごみステーションの新設、変更など多くの業務を担っています。本日の講演を機に、これらの業務を理解することで環境保健委員にとって頼もしいパートナーとしての認識を深めることができました。

第３講演　動物愛護センターの業務について（保健医療部生活衛生課動物愛護センター所長／磯貝惣吉様）

犬や猫に限らず命ある動物を最後まで責任をもって飼うことは大切なことです。動物愛護センターではこのような動物を適正に飼っていただくための啓発や手放すことになった犬や猫の譲渡に関すること、迷い犬の保護や収容などの業務を行っています。

一方で犬のフン始末や無責任な餌やりに起因する野良猫トラブル、飼い猫による近隣への迷惑行為も発生しています。センターが用意する啓発回覧や啓発看板を活用することで地域住民に周知するなどの対策とともに町内会や愛護団体が実施する野良猫の不妊去勢手術に要する費用の助成制度についてお話しいただきました。

第３０号記念　環境保健クロスワードパズル（健康編）



■よこのカギ■

①生物が外から食物を得て活力を保ち続ける体の営み。
⑤ビタミン、ミネラル、食物繊維を摂りましょう。
⑦担当患者を診察して回ること。
⑧高崎ひらめき市歌体操は座ったままでOKです。
⑨空腹だと背中とくっつきます。
⑪お灸のこと。
⑬〇〇時間の充実で、こころも健康に！
⑭タミール語でソースを意味する各種スパイスを混合した香辛料。
⑯小腸にあるのは柔突起といいます。
⑰「歩く」と「便乗」の合成語。旅行手段。
⑲医学の専門用語の中には、この国のことばが現在も多く使われています。
㉑運動不足解消に医師も進めるアプリでGO！
㉒血行促進や冷え性にきく一日5分の〇〇踏み。

■たてのカギ■

②胃を支える筋肉の少ない人がなりやすいといわれます。
③動揺病とも呼ばれる乗り物〇〇。
④遅筋を使う効果のある歩き方。
⑥血液サラサラEPAが豊富。
⑧ジェネリックとは新薬の特許が切れた後に製造販売されるものです。
⑨カリウムを多く含む山形県の伝統野菜。〇〇ひじき。
⑩筋力維持には速歩より上り下り。
⑫慢性的な皮膚病に効果があると言われている北海道で一番高いところにある温泉。
⑬運動会、ゴール目指して〇〇〇〇〇。
⑮理学療法、作業療法の略。
⑱京都の着倒れ、大阪の〇〇倒れ。
⑳急性、慢性の呼吸器疾患の治療に広く使用される葉。

A～Eをつなぐとできる言葉は？
（ヒント：ストレスを溜めない生活で防ぎましょう。）

官製ハガキに回答のほか住所、氏名、電話番号を書いて協議会事務局へ。
正解者の中から抽選で30名の方に粗品を進呈。締め切りは2月末日消印まで。
※記載していただいた個人情報は、目的以外には使用しません。

（クロスワードパズルは今回で終了します）

第67回定時総会および表彰式が開催されました　高崎市文化会館　令和６年５月２３日（木）

５月２３日（木）多くの環境保健委員にご出席いただき、第６７回定時総会および表彰式が高崎市文化会館で開催され、令和６年度の事業計画や予算案などが承認されました。表彰は下記のとおりです。

市長表彰　環境活動優良地区

会長表彰

高崎市功労者表彰２１名（敬称略）

鞘町　**浦野和子**、元紺屋町　**佐橋京子**、田町第２　**米山大介**、
常盤町第２　**金田輝弥**、上和田町第１　**松本茂夫**、本町第２　**藤本積**、
住吉町第１　**宮下三奈代**、住吉町第２　**富田誠司**、通町第１　**山田準**　、
山田町　**山田勝彦**、旭町　**渡辺利一**、江木町第５　**戸塚清**、天神町　**宮島孝順**、
城山町一丁目　**畠山英雄**、城山町二丁目　**堀口三郎**、八幡町第１　**原俊雄**、
剣崎町上　**中平吉弘**、箕郷町駒寄　**剣持弘之**、箕郷町生原１区　**島野明**
中室田７区　**樋口克巳**、吉井町第２９区　**茂原光博**

高崎市環境衛生事業功労者表彰

環境活動優良地区　　滝川地区
環境活動優良町内　　柳川町中部、北通町第２、並榎町第４、井野町第１、中豊岡町第２、南新波町、倉賀野町田屋、箕郷町原中、本郷後側

高崎市環境保健協議会会長表彰

８年勤続環境保健支部長１２名、　６年勤続環境保健支部長２５名
３年勤続環境保健支部長４４名

環境保健委員の取り組み　・　ひとりごと

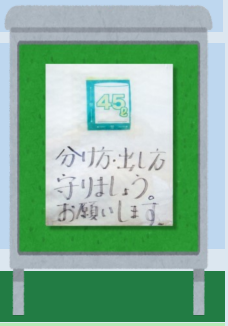
年末年始にかけて路上に犬のフンを放置する事案が発生。看板を立てて警告するも効果なし。３月に区長より軽犯罪法記載のポスターをもらい看板に設置。以降徐々になくなり現在に至る。

未回収の混合ごみを分別中「ごみ置場に不審者がいる」と匿名で警察に通報されパトカーが来た。対応後、作業を続けていると「何しているのか？」と話しかけられ「混合ごみの分別」（内容と分別法を説明する。）と「そうですか」と言って去って行った。それからはそのごみ置場に混合ごみは出なくなった。その人は分別方法を知らなかった本人のようだ。周知することの大切さを再認識した。

ごみの出し方・ごみに関する注意事項を３か月ごとに年４回「ごみ当番からのお願い」という文書で町内の全戸に回覧して通知しました。このことにより、ごみの出し方も以前より随分よくなってきました。

月２回の不燃物の分別に当番制を令和５年度より実施してから違反ごみが相当量減ったように思う。

ごみステーションに手づくりポスターを貼ってみました。
・燃やせるごみの日に事業系の９０ℓの袋に決まって出す人が複数人いたので貼ってお願いしました。
・燃やせないごみの日に毎回袋に入れないで分別もしないで出す人がいて袋に詰め直していましたのでお願いしました。



たかさきアダプトまち美化活動事業による町内清掃

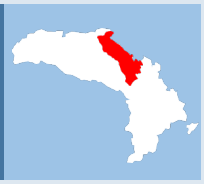
寺尾アダプトの会（寺尾第１町内会/片岡地区）は「自分たちの住む町をもっときれいにしたい」という気持ちでまち美化活動を行う組織で、町内役員や各班長及びボランティア活動員など約30名で構成されています。

市の「たかさきアダプトまち美化活動事業」として市と協定を結び、一定区間の公共スペースや学校周辺の草刈り・清掃・ごみ拾いなどの活動に対し、市からはボランティア活動中の傷害保険の加入やアダプトサイン看板の貸与などのサポートをいただいています。

このような市民と行政が協働で進めるアダプト・プログラムとは、公共スペースの清掃・美化活動として1985年にアメリカで始まり、日本では1998年に導入され、現在約517自治体で実施されています。

寺尾アダプトの会では、数年前からこの活動を始め、高齢化に伴う助け合いの一環として高齢者からの依頼による庭の樹木伐採・清掃など、まち美化活動とは別の独自の活動も併せて実施するなど、これからも住民に喜ばれる、明るくきれいな町づくりに向けて活動が続けられます。

地区活動紹介 箕郷



箕郷地区は榛名南麓に位置し豊かな自然と調和した美しい地域です。近年は、西毛広域幹線道の整備に伴い交流人口増加にむけた各種事業や歴史、地域性を活かした地域づくりと安心安全なまちづくりの取り組みも進められています。また、日本百名城のひとつに数えられる「国指定史跡箕輪城跡」、１０万本もの梅が植栽されている「箕郷梅林」は地域を代表する観光資源です。その他にも、春になると芝桜公園が色鮮やかに、夏には蛍峰園で蛍祭りが開催され、秋は下田邸の紅葉が見頃を迎え、冬にはワカサギ釣りが楽しめる鳴沢湖にも多くの観光客が訪れます。

箕輪城跡

四季折々の観光が楽しめる箕郷地区での環境保健委員の活動をご紹介します。主に各町内会にてごみステーションの管理や清掃パトロール等を実施し、この美しい環境を守るため日々活動をしています。毎年９月には、新たに環境保健委員、環境美化協力員、廃棄物減量等推進員になられた方へ研修会を実施しています。内容は高浜クリーンセンター、エコパーク榛名の見学会や、市職員によるごみの排出ルールやごみを減らす方法について受講し、ごみ減量化の重要性について学びます。

箕郷梅林

また、１１月には、毎年多くの環境保健委員が参加し、榛名南麓スカイラインを中心に清掃活動を行っています。回収するごみは、ペットボトルや空き缶、コンビニ弁当のごみがほとんどです。

清掃活動

そして、１２月には２年に一度、支所の駐車場を会場として、廃タイヤ廃バッテリー等の有料回収を実施しています。１２月に行うことで、冬用タイヤへ交換した際の廃タイヤの回収が可能になり、適正な排出方法の啓発や不法投棄を未然に防止することができています。

３月には、関東近郊の廃棄物処理施設やリサイクル施設等の見学を実施しています。昨年度は茨城県古河市にある大手住宅メーカーのエコ・ファーストパーク（先進の環境配慮設計や技術が盛り込まれた施設）を見学し環境問題解決のために住まいにできることや建築廃棄物リサイクルについて企業の取り組みを学びました。

廃タイヤ廃バッテリー有料回収

今後も地区の皆様が安心安全に暮らせるきれいなまちづくりを目指し活動を続けていきます。

Column　環境保健委員の活動をはじめて１８年になります。日々パトロールを行っていますが、便利な世の中になった分、ごみの量も増え、不法投棄も後を絶ちません。これからも地区の皆さんが、ごみの分別、減量化、再資源化の意識を高めてもらえるよう啓発活動を環境保健委員一丸となってやって行きましょう。

箕郷地区会長　湯浅　清美

群馬県環境賞受賞

福岡大佑委員（飯玉町第３）は、２３年間にわたり地域の環境美化に貢献してこられたことが評価され、令和６年度の群馬県環境賞を受賞されました。

お知らせ（information）

お問い合わせ／一般廃棄物対策課　027（321）1253

ごみの分別や収集日、出し方など、わからないことは市で配付している **ごみかわら版** をご覧ください。

スマートフォン用のごみ分別アプリ **さんあ～る** もご活用ください。

さんあ～る　App Store　Google play

令和６年度 高崎市環境ポスター展 特別賞

高崎市環境保健協議会長賞

高崎市立金古小学校
６年　水野　利音さん

環境保健協議会だよりは市のホームページからもご覧いただけます。
https://www.city.takasaki.gunma.jp/page/3276.html

私たちの環境は私たちの手で　高崎市環境保健協議会
370-8501　高崎市高松町３５番地１（高崎市役所内）
電話027（321）1252

毎年１回２月発行